

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月分）

留学先：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：白越 明

<はじめに>

ルーマニアに留学して3ヶ月半が経ちました。ブカレストは連日30°前後の暑い日が続き、夜も9時過ぎまで日が沈みません。乾燥していて、寮の部屋にはエアコンもないので、日中は自分の部屋にいたり、直射日光の当たる屋外に外出したりするのは、かなり暑いです。しかし、福井と違って雨はほとんど降らないので（傘も持っていません）、じめじめした蒸し暑い感じは全くしないです。ただこれから夏にかけてさらに気温が高くなっていくそうなので、どこか涼しいところを見つけたいと思います。



ルーマニアの友達の家で餃子を作りました！寮にキッチンがないので、手作りの日本食は本当にうれしいです！

<授業について>

2nd module では、“International Business Management” “Private Equity and Venture Capital” “Doing Business with Asian Countries”の3つの授業を取っていました。5月いっぱいではほとんどのテストが終わり、残りはプロジェクトの提出だけです。1セメスターの前半である1st module では、1、2年生の基礎的な授業を多くとっていたのですが、2nd module ではもう少し挑戦してみようと思い、3年生の授業と大学院の授業を取ることにしました。やはり思っていた以上に内容は難しく、テストやプロジェクトなども求められる成果が高くなっていました。日本語で勉強しても難しく専門的な内容を、さらに英語で勉強するのはかなり難しいです。それでも、ただ単位を取って終わりにはしたくないのでしっかり理解して頭の中に残るように勉強しようと心がけています。夏休みの間に英語の勉強もしっかりして、秋からの授業ではもっと積極的に発言したりできるように頑張りたいです。

<日本語センターでのインターンシップについて>

私は、ルーマニア・アメリカ大学にある日本語研究センターでインターンシップをしています。普段は、日本語ビギナーのクラスで日本語を教えたりしていますが、5月は HARU-URARA という日本文化のイベントがあったのでその手伝いもしていました。今回はそのことについてお話したいと思います。

日本からこのイベントのために、三味線奏者や日本舞踊などを一人でこなすうめ吉さん、そして日本でとても有名なけん玉パフォーマーのずーまだんけさんが来てくれました。私の仕事は、このような日本人ゲストの方々のお世話や通訳、打ち合わせなどの手伝いでした。もちろん今



までこのような仕事はやったことがありませんでした。私はただの学生でボランティアだけれど、日本から来ているパフォーマーの方々にはプロで仕事をしにきています。そこに学生だから仕事ができないという言い訳は通用しないので、かなり責任がある仕事でした。ルーマニアの方のイベントの進め方や考え方は日本とは異なるので、ルーマニア人と日本人の間で仕事をするのは難しいことも多々ありました。しかし同時に、大事な仕事を任せてもらえたり、運営側に携わることが出来たのでとてもやりがいがありました。私は、日本文化に関するイベントをこのように海外で行うことに興味があったので今回はとても良い勉強になりました。

<最後に>

文字ばかりになってしまって申し訳ありません！次からはもっと写真を載せるようにします。6月で、福井大学から一緒に来た2人の学生と、半年前から留学していたAPUの日本人の学生が帰ってしまうので、しばらくは私が唯一のRAUの日本人留学生になります。さみしいですが、新たなことに挑戦していきたいと思います！！